



家畜保健衛生所だより



R8.1.23

岐阜県関市で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)が発生 (国内 17例目)

1月22日、岐阜県関市の養鶏場で HPAI の疑似患畜が確認されました。

【発生概要】

17例目 岐阜県関市

飼養羽数 約 2 万羽(肉用鶏)

1/21 農場からの通報を受け立入、簡易検査陽性

1/22 遺伝子検査の結果、疑似患畜と確認

【今シーズンの発生状況】

家さん

1道1府10県 17例

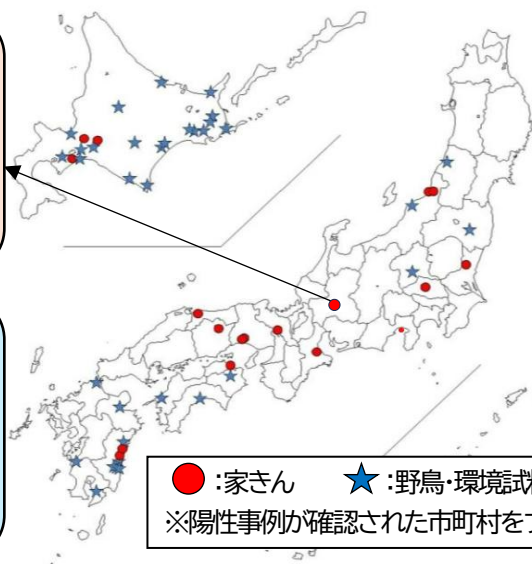
約 412万羽殺処分

(R8.1.22時点)

野鳥・環境試料

1道11県73件

(R8.1.19 時点)



なお、1月10日に大洲市で回収された死亡野鳥(ノスリ)から検出されたウイルスは、検査の結果、HPAIと確認されました。県内でも、いつどこで発生してもおかしくない状況にあり、最大限の警戒を継続する必要があります。今一度、毎日の飼養衛生管理について見直し、農場内にウイルスを侵入させないようにしましょう。

～消毒命令が発出されています～

農場内に十分な量の消石灰を継続して散布しましょう！！

○1m幅に対し、1.0kg/m²(20m²あたり1袋(20kg))が目安です。

降雨により消石灰が固化した場合や、強風等で消石灰が少なくなった場合、消毒効果が減弱します。こまめに確認し、鶏舎外縁部及び農場境界内縁部に、必要量を再度散布願います。

○消毒命令期間:令和8年1月17日～2月16日

異状家さんの早期発見と早期通報が極めて重要です

鶏の健康観察(異状の有無の確認)を毎日数回行い、元気消失やうずくまりなど通常と異なる症状を発見した場合や死亡羽数がいつもの2倍以上になった場合には、速やかに家畜保健衛生所に通報をお願いします。

中予家畜保健衛生所

TEL 089-990-1333

携帯 090-6282-6129 (夜間・休日)

